

事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	美術考古館展示事業（企画展）	コード	111115
-------	----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課（美術考古館）	作成者 戸谷田剛秀
--------	--------	-----------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政策	文化・スポーツの振興	施策	文化・芸術の振興
		予算科目	企画展等開催事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	博物館法3条1		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	魅力ある展覧会の開催により、質の高い芸術文化に触れる機会を増やし、芸術文化を提供する。		
目的	対象者	市民及び来館者	
	意図	市民の芸術文化の振興 生涯学習の推進	

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
美術特別企画展の開催。			
○「生誕100周年 早出守雄展－早出先生と教え子たち－		6月28日～8月26日	
関連イベントの開催			
・講演会「父、貞一郎と早出守雄」 講師 高橋靖夫		（8月19日 30人）	
○「県展70年を支えた岡谷の巨匠展」		8月30日～11月4日	
関連イベントの開催			
・講演会「長野県展70年を見つめて」 講師 植草 学		（9月1日 30人）	
・作家によるギャラリートーク		（11月3日 76人）	
考古特別企画展の開催			
○第1部「華麗な装飾 火焰と水煙の縄文土器展」		7月14日～8月15日	
○第2部「恵みを生み出す器 縄文中期の顔面把手大集合」		8月18日～9月17日	
関連イベントの開催			
・土器をつくって、焼いて、展示しよう！		（7月29日～9月17日 743人）	
・林賢先生（日本考古学協会会員）による展示解説		（9月8日 21人）	
考古企画展の開催			
○黒曜石 ～国内を結ぶ諏訪の黒曜石～		平成29年9月21日～平成30年7月13日	
○「県宝指定 信州の特色ある縄文土器」		10月6日～	
その他企画展			
○「第26回岡谷市内小学校児童版画展」		平成31年1月20日～2月17日	
関連イベントの開催			
・児童版画展表彰式		（2月17日 110人）	
前年度の課題への対応	開館5周年記念事業として美術や考古に関しての特別企画展を開催し多くの来館者があった。また、郷土作家や現役の作家、市内出土の考古資料を多くの方に紹介することができた。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	展示・企画展の開催日数			単位	日
実績値	294	300	297		
*指標の説明	美術考古館の開館日数				
② 成果指標（指標名）	1日あたりの入館数			単位	人
目標値	42	35	36	37	
実績値	35	38	39		
達成度	83.3%	108.6%	108.3%		
*指標の説明	岡谷美術考古館の1日あたりの入館者数				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間における1日あたりの入館者数の平均値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	1,298,743	859,851	1,356,885	1,484,000
経常経費				
臨時的経費	1,298,743	859,851	1,356,885	1,484,000
* 臨時的経費の説明	企画展等開催			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	3,698,743	3,259,851	3,756,885	3,884,000
前年度比		88.1%	115.2%	103.4%
財源				
一般財源	3,265,343	3,026,751	3,287,985	3,278,000
内訳				
特定財源	433,400	233,100	468,900	606,000
* 特定財源の説明	特別企画展入館料+差額			
④ 活動一単位あたりコスト	8,163	8,000	8,081	
前年度比		98.0%	101.0%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	102.6%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	108.3%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 来館者のニーズやより魅力があり多くの集客に繋がるような特別企画展などの内容やテーマの設定が難しい。また、岡谷市と作家や作品の関連性なども検討が必要。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 館長を始め、担当職員にて検討を行い、他施設の展示状況等も参考にしながら魅力ある企画展の開催を行う。また、展示に合わせた関連イベントなどを開催し、より芸術文化に深い理解等を図る。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---